



人工透析と歯科治療

No.59

現在、日本全国で維持管理透析(通院透析)を受けている患者数は、304,592人(2011年12月1日現在)国民約420人に1人の割合です。透析を受けている方はCKD(慢性腎臓病)とも言われています。これは腎臓の本来の機能である

- ①老廃物を体外に出す
 - ②体内の水分量を調整する
 - ③ナトリウム・カリウムなどの電解質の量を調整する
 - ④血液を弱アルカリ性に保つ
 - ⑤造血ホルモンと血圧を調整するホルモンを作る
 - ⑥骨の健康を保つビタミンDを生産する
- の6つの機能が著しく低下している状態です。

お口の中との関係について

透析を受けている方は、骨代謝異常と口腔乾燥症等が起こることがあります。

骨代謝異常とは腎臓の機能が低下することで全身のカルシウムが不足し、骨軟化・易骨折性・骨粗鬆症などの状態になります。

歯科では、歯槽骨(歯を支えている顎の骨)に影響が出ることがあります。



口腔乾燥症とは、ドライマウスとも呼ばれ腎臓機能が低下することで唾液腺(つばを作る工場)の機能が低下しつばの量が減ることで、お口の中が乾燥してしまう状態です。お口の中が乾燥すると、細菌(むし歯菌、歯周病菌などお口の中には細菌がたくさんいます)が増殖し、むし歯や歯周病が悪化することがあります。さらに、増殖した細菌が血液中に入り込むと心筋梗塞や脳梗塞など重篤な症状を起こすこともあります。



歯科治療について

透析を受けられるペースは、週に3回(1回4時間)程度が多く、歯科治療はその中日に行うのが望ましいようです。治療に関しては、透析を受けている方は出血傾向があり、抜歯などの歯科治療による出血に注意する必要があります。

また、歯科で出される薬に関しても注意が必要です。必ず担当の歯科医師に透析を行っていることを伝えてから治療を受けるようにしましょう。

